

保護者各位

東彼杵町立千綿小学校  
校長 中路 知恵

## 令和7年度 学校評価の結果について（お知らせ）

立春の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、標記の件につきまして、ご多用な中ご協力いただきありがとうございました。

つきましては、アンケートの集計結果がでましたのでお知らせいたします。この結果を真摯に受け止め、これからの本校教育活動のさらなる充実に努めてまいります所存です。

今後ともご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

## 記

1 アンケート結果（対象：102名/回収率70.5%=72名回答 昨年度比14.2%↑）

【4：そう思う 3：ややそう思う 2：あまりそう思わない 1：そう思わない】

表の数値は、4段階評価の平均を示しています。

（「子ども」の欄は4・5・6年生の子どもたちが同じ項目で自己評価した結果です。）

	評価する項目	保護者	子ども	差
1	みんな、仲良くすごし、学校が楽しい。	3.6	3.4	0.2
2	友だちや下級生にも優しくしている。	3.4	3.5	-0.1
3	学級のことについてみんなで意見を出して、よいクラスにしようとしている。	3.1	3.2	-0.1
4	みんな、わがままを言わず、めあてに向かってまとまっている。	2.9	3.2	-0.3
5	そうじはみんなで協力して、最後までがんばっている。	3.2	3.4	-0.2
6	明るく元気なあいさつや返事ができている。	3.2	3.4	-0.2
7	だれにでも思いやりの心で優しく接している。	3.3	3.4	-0.1
8	時と場に応じた正しい・気持ちのよい言葉づかいができている。	2.9	3.3	-0.4
9	くつやトイレのスリッパなどをいつもそろえて並べている。	2.6	3.4	-0.8
10	やらなくてはいけないことは、最後までやりとげようとがんばっている。	3.1	3.4	-0.3
11	先生やみんなの話を良く聞き、自分から進んで発表している。	2.9	3.2	-0.3
12	時間を決めて集中して家庭学習に取り組んでいる。	2.7	2.9	-0.2
13	次の日の準備をし、忘れ物をしないようにしている。	2.7	3.2	-0.5
14	学校のきまりを守り、安全に過ごしている。	3.3	3.4	-0.1
15	交通のきまりを守って安全に登下校している。	3.5	3.8	-0.3
16	昼休みには外で元気よく遊んでいる。	3.3	3.2	0.1
17	早寝早起きをして、朝ご飯を食べて学校に来ている。	3.0	3.2	-0.2
18	おうちで決めたルールにしたがってメディア（テレビ・タブレット・ゲームなど）コントロールができている。	2.5	2.9	-0.4

19	わかりやすい授業をしてくれる。	3.3	3.7	-0.4
20	できないことやわからないことにはアドバイスをしてくれる。	3.2	3.7	-0.5
21	いいところやがんばったところをほめてくれる。	3.4	3.6	-0.2
22	こまっていることやなやみごとをきいてくれる。	3.2	3.6	-0.4
23	ダメなことはダメときちんとしかってくれる。	3.4	3.7	-0.3
24	千綿小学校は、通いたい学校である。	3.5	3.8	-0.3

○成果と課題（保護者と児童の評価値の比較から）

【双方の評価値が高い項目】

- ・みんな、仲良くすごし、学校が楽しい。
- ・だれにでも思いやりの心で優しく接している。
- ・交通のきまりを守って安全に登下校している。
- ・ダメなことはダメときちんとしかってくれる。
- ・わかりやすい授業をしてくれる。
- ・友だちや下級生にも優しくしている。
- ・学校のきまりを守り、安全に過ごしている。
- ・いいところやがんばったところをほめてくれる。
- ・千綿小学校は、通いたい学校である。

今年度も、小規模のよさが十分に生かされ、「㊦からをあわせて ㊦らい声あふれる ㊦のしい学校」づくりができていることを職員一同大変嬉しく思っております。このような結果が得られるのも、保護者・地域・学校が一体となって子どもを支え、見守っていただいているおかげです。現状に満足することなく、これから子どもたちを第一に考え、教育活動にあたってまいります。

【双方の評価値が低い項目】

- ・時間を決めて集中して家庭学習に取り組んでいる。
- ・おうちで決めたルールにしたがってメディア（テレビ・タブレット・ゲームなど）コントロールができています。

家庭学習の評価が低かった要因を踏まえ、家庭学習の在り方を見直し、学校と家庭が連携した取組を進めることで、学習習慣の定着と学力向上を図っていきます。学校の取組として、チャレンジカードを活用し意識向上に努め、家庭学習ができる時間を自分で見つけ、集中して取り組むことができるよう努めていきます。

また、タブレット学習を活用し、楽しみながら個に応じた家庭学習に取り組んでいきます。ご家庭での声掛け等も、よろしくお願いいたします。

子どもたちのメディアコントロールについての評価も低く、家庭でルールが守れていないことを自覚しています。今後も、メディア実態調査や啓発活動（メディア講演会等）を通して家庭との連携を深め、子どもたちが、メディアを適切に自己管理できる力の育成を図っていきます。また、ご家庭でもルールを決め、守っていくように根気強く継続した声掛けや働き掛けを御協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

【双方の評価値に差がある項目】

- ・くつやトイレのスリッパなどをいつもそろえて並べている。
- ・次の日の準備をし、忘れ物をしないようにしている。

子どもたちは、学校の靴棚、トイレのスリッパなどきちんと並べて学校生活を送っています。言葉掛けとして靴棚では、「一秒でかかとをそろえる」トイレのスリッパは、「次の人が使いやすく」と呼びかけています。習慣として定着するように毎日同じ行動を繰り返しています。昼休みなども外遊び後、靴棚の靴は並んでいる状況です。ご家庭でも、「靴がそろえてあると気持ちがいいね」など声掛けをしていただけると子どもたちの生活習慣としてより定着していくと思います。御協力よろしくお願いいたします。

「忘れ物をしない」ことについては、保護者と児童が同じ視点で準備の様子を振り返ることができるよう、連絡帳やチェック表などを活用し、家庭との連携を更に深めていきます。

※学校評価の課題については、学校と家庭が同じ方向で子ども達の成長を見守っていきたいと考えております。今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【千綿小をもっとよくするアイディア等のご意見から】

ご多用な中、貴重なご意見をお寄せいただき、ありがとうございました。ここでは、比較的多かったご意見について回答いたします。また、個人に関するものについては掲載を見合わせておりますが、いただいたご意見は全てに目を通し、必要に応じた対策を協議したところです。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

○千綿小学校は児童数も少ないため、いいところもあると思うが、いろいろな活動をしていく中でももう少し人数がいた方が子供達のためにもいいと思う。そのために彼杵小学校との合併をして欲しいです。小中一貫校の前に合併を考えて欲しいです。

→小中一貫教育制度については、東彼杵町ホームページ（計画・施策→東彼杵町小中一貫教育）に掲載されております。近い将来訪れる①学校施設の老朽化 ②児童生徒数の減少 この2つの課題に対応するため東彼杵町の子供達のための、小中一貫教育制度の導入について、検討委員会で話し合いが行われております。今までの検討委員会での議事録等が掲載されておりますので、ご覧いただければと思います。

○いじめやトラブルは、先生に見えないところで行われることが多いです。顔の表情（泣いた後がある、怒っている、いつもと違う様子）をみれば、気づくことはあると思います。それに気づいた他の子どもたちが先生に伝えていることもあるそうです。

どうぞ、子どもたちの悲しみのサインに気づいてあげてください。

→これからも、子ども同士のいじめやトラブルに関して、表に出にくい「悲しみ」や不安のサインにも気づけるよう、日頃の様子を丁寧に観察することを大切にしていきます。児童理解の会議を月1回、心のアンケートを月2回実施し、教職員間で子どもの情報を共有し、小さな変化を見逃さないよう努めています。

○アンケート結果は、7年前ほどから、保護者へ公開されていますが、特定のお子さんの名前などがいない場合は、できれば原文のまま載せていただきたいです。以前、原文が要約され、伝えた意図が変わってしまっていました。

→ご意見いただきありがとうございました。本年度のご意見は、原文のまま掲載しております。

○高学年では、悪いと分かっているけど、自分が非難されたくない、嫌われたくないなどの気持ちから、いじわるをするグループに加担したり、傍観者となったりする場面があったという話をよく聞きます。

子どもたちの心はしっかり育っているのでしょうか？とても心配です。

しかし、低学年で人間関係において、是々非々をきちんとと言っている子どもたちがいます。頼もしいです。是々非々を伝えられる関係こそ、本当の友達ではないでしょうか。

→子どもたち一人一人が、相手の気持ちを想像しながら、良いこと、悪いことを判断できる力を身に付けられるよう、日常の学級指導や道徳教育を通して丁寧に育てています。

いじめをしない子どもを育てるためには、単に行動を制限するだけでなく、なぜ、その行為が相手を傷つけるのかを自分の言葉で考える力が必要であると考えます。本校では、子ども同士の関わりの中で起こる出来事を大切な学びの機会と捉え、是々非々の視点を持って判断し、行為を振り返る心の教育を継続的に行っています。

○子どもたちは個性のかたまりです。その個性に合わせた指導を先生方はされてると思います。ですが、同じことを言ったり、行動したりしても、個性のある子は怒られない、と家では子どもからの言葉を耳にします。直接その場面を見ていないし、子どもが言う言葉が100%真実だとも思っていません。子どももダメなことしてるんだと思います。家庭でも、個性のある子を尊重するように伝えてはいます。でも、まだまだ子どもです。「あの子は怒られなくていいな」としか思えてないようです。そのちょっとした気持ちの積み重ねが大事にならないよう、ご指導いただければと思います。

この場で言っているのかどうか迷いましたが、書かせていただきました。よろしくお願い致します。

→御意見ありがとうございました。子どもの行動の背景にある特性を理解し、結果のみを叱る指導にならないよう配慮しております。学校では、事前の声掛けや見通しを持たせる支援、できている行動を認めることを通して、子どもが安心して行動できる環境づくりを進めています。学級指導としても、「一人一人に合った関わり方があること」や「公平と平等の違い」「ちがいを認めること」について丁寧に伝え、子ども同士が納得して関わることをできるよう継続して指導していきます。

○これからの時代に合わせ、受け身態勢ではなく、自ら考える力を伸ばす教育を積極的に取り入れて頂けたらと願っております。例えば最後の学年の修学旅行等は子供達自ら予算内で、どの交通手段で何処に行くか、何を学ぶかというのを考え、調整する。等、これからの時代に大人も学校もチャレンジできたらと願っております。

→日々の生活や授業において、子どもたちが自ら考え、対話し、挑戦することを大切にした千綿小の教育を進めていきます。

○挨拶は、必ず立ち止まって帽子を取って挨拶することを徹底させる。※挨拶の基本を身体で覚えさせる。

→挨拶を先に行うことを大切にし、相手を思いやる気持ちや礼儀の基本を日常の人との関わりの中で自然と身に付けられるよう指導していきます。挨拶を通して、人とのつながりの心地よさを感じながら、礼儀作法を「知識」だけでなく「身体で覚える」ことを目指していきます。

○地域との交流や外部の講師をお呼びすることで子供たちも授業に興味をもってもらいたいです。

→今後も、地域の方や外部講師の方と多く関わりながら、千綿っ子を学校、家庭、地域の方々と協力して育てていきます。